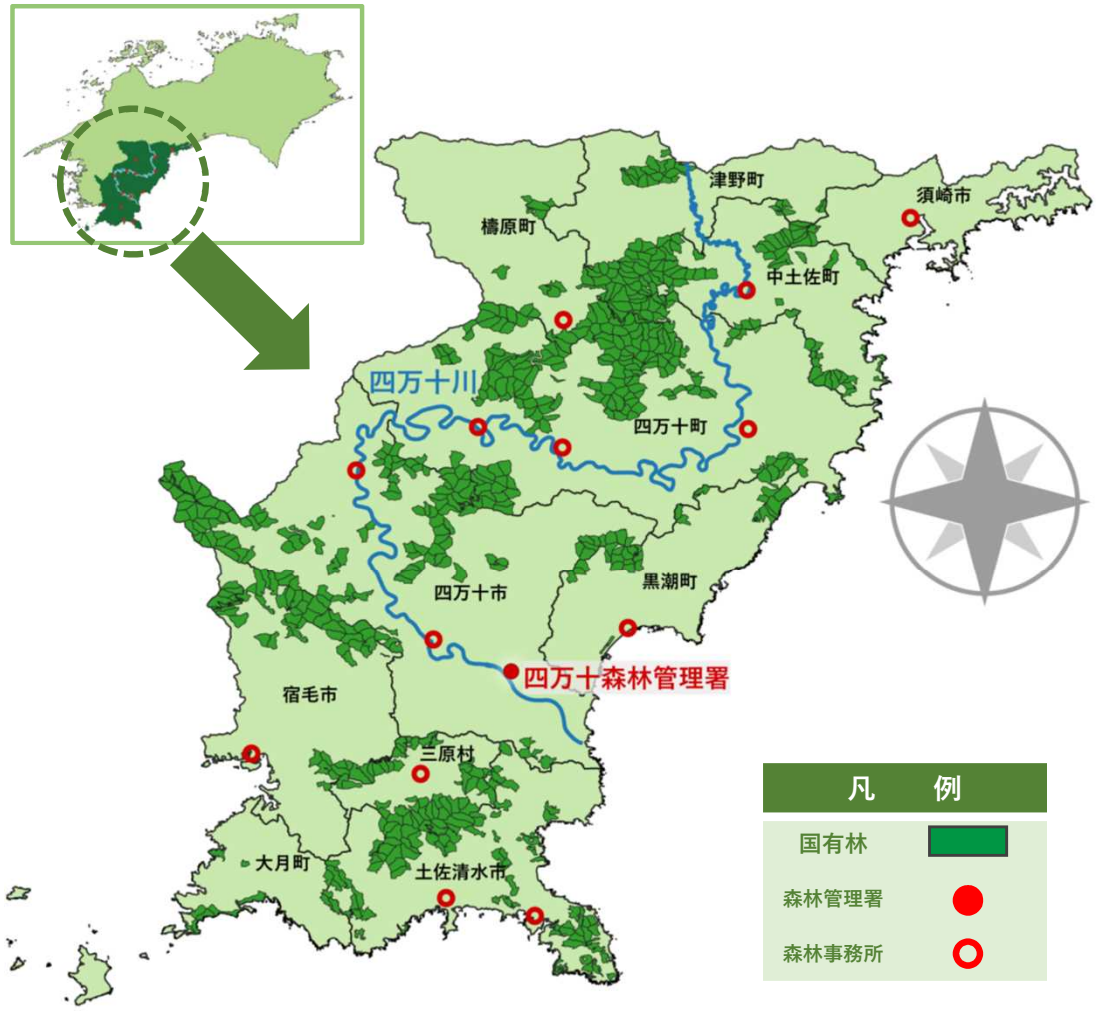
管内地図



四万十川森林計画区

- 管内全域が四万十川森林計画区に属しています。
- 本計画区の区域面積296,704haは、高知県全面積の42%を占めています。
- 四国の中で最も人工林率の高い地域であり、特にヒノキについては「幡多ヒノキ」の名称でも知られる良質な木材の産地です。

○令和４年５月作成

令和５年度

四万十森林管理署管内概要

林野庁　四国森林管理局

四万十森林管理署

〒787-0003 高知県四万十市中村丸の内1707-34
TEL: 0880-34-3155　FAX:0880-35-5310

管内の国有林

四万十森林管理署は、高知県西部の11市町村にまたがる51,620 haの国有林を管理経営しています。管内の国有林は四万十川流域に位置し、流域内の森林面積約25万haの約２割を占め、人工林率は82％となっています。（図１）

また、管内には「日本最後の清流」で知られる四万十川をはじめ、黒潮町入野松原の海岸林や、津野町不入山（いらず）の四万十川の源流点があるレクリエーションの森など多種多様な国有林があります。

これらの国有林は、水源の涵養（かんよう）や保健休養等の公益的な機能を適切に発揮できるよう、４つの機能類型に分類し、発揮すべき機能に応じ、保育や治山事業を実施しています。（図２）

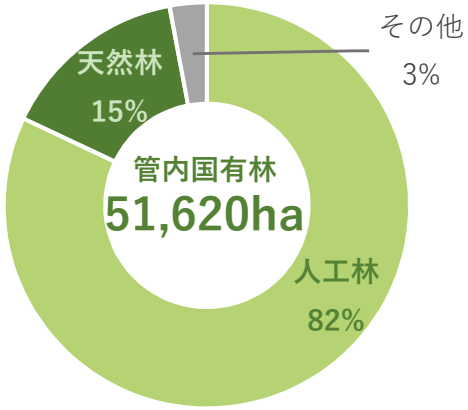


図１　人天別面積

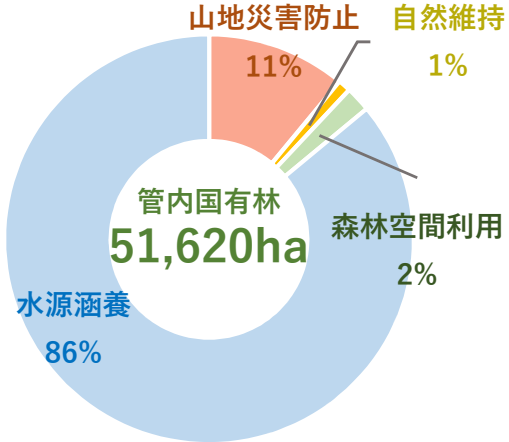


図２　機能類型の内訳

入野松原

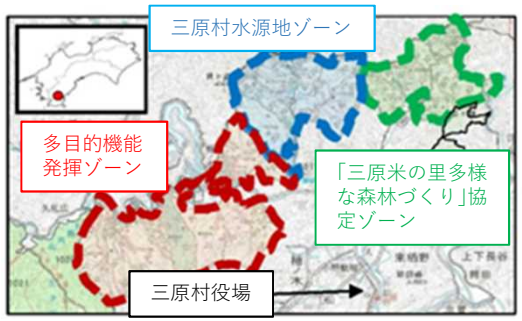
四万十川源流点（不入山国有林）

主要な事業

民国連携による木材の安定供給や、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されるための**多様で健全な森林づくり**に向けた取り組を推進し、立木を一定期間安定的に伐採できる権利（樹木採取権）の円滑な事業実施に取り組みます。

事業区分	令和４年度実績	令和５年度予定
植え付け	66ha	116ha
保育間伐	673ha	889ha
製品生産	66,299㎥	66,500㎥
立木販売	23,915㎥	99,800㎥
林道事業	1,377m	1,516m
治山事業	4箇所	9箇所

※保育間伐は、存置型、活用型、本数調整伐を含む。



多様な森林づくり“見える化プロジェクト”（三原村）

重点的な取組

森林・林業セミナーin四万十

各市町村の林務担当者を対象に、「森林・林業セミナーin四万十」を開催し、技術面の習得の他、情報交換を行うことで連携の強化を図ってまいります。

森林・林業セミナーin四万十

松くい虫の防除

黒潮町入野のマツ林を保存するため、高知県、黒潮町と連携して薬剤散布等による松くい虫の防除に取り組んでいます。

薬剤の地上散布